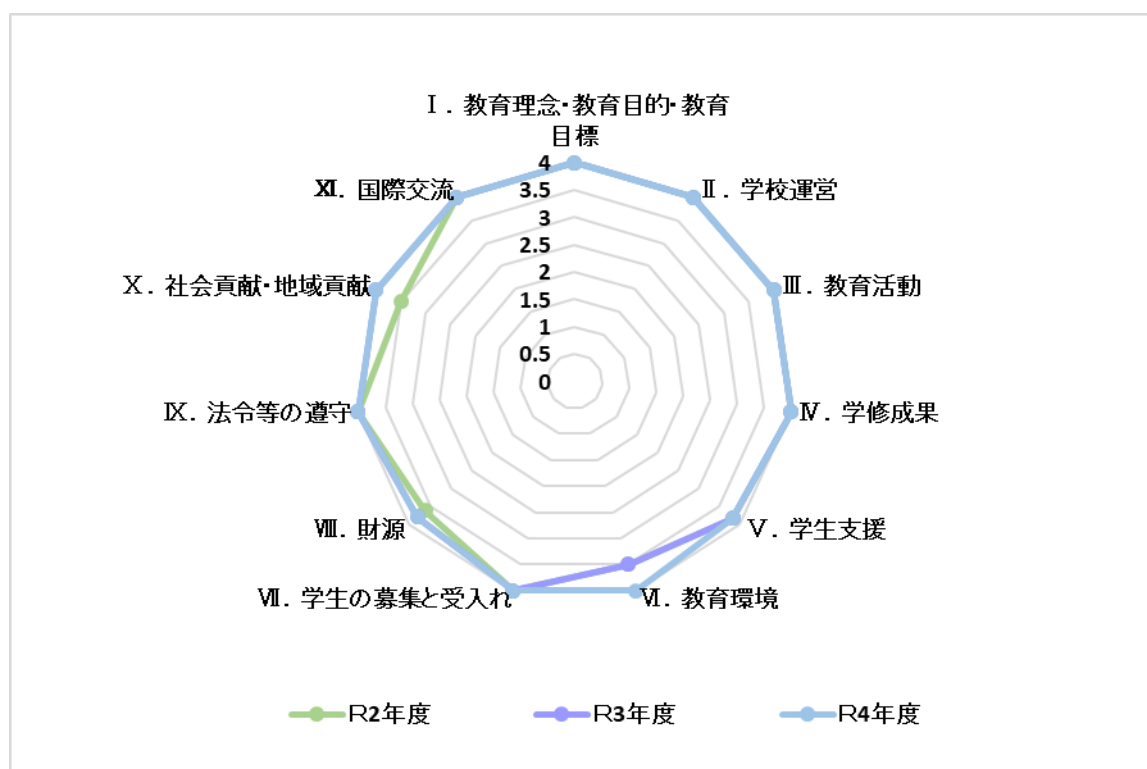


【令和4年度 学校評価結果】

<自己点検・自己評価結果>

カテゴリー(大項目)	R2年度	R3年度	R4年度
I. 教育理念・教育目的・教育目標	4	4	4
II. 学校運営	4	4	4
III. 教育活動	4	4	4
IV. 学修成果	4	4	4
V. 学生支援	3.8	3.8	3.8
VI. 教育環境	3.5	3.5	4
VII. 学生の募集と受入れ	4	4	4
VIII. 財源	3.6	3.8	3.8
IX. 法令等の遵守	4	4	4
X. 社会貢献・地域貢献	3.5	4	4
XI. 国際交流	4	4	4



自己点検・自己評価結果

<令和4年度 自己点検・自己評価 総括>

I 「教育理念・教育目標・教育目標」自己評価：4.0

日常的に教育理念、教育目標に戻り教育活動を実施していくことを大切にしている。
教育課程編成に教師全員で取り組んだ新カリキュラムでの新入生を迎え、教育を行っている。

II 「学校運営」自己評価：4.0

現行カリキュラムと新カリキュラムの学生が在籍する状況で、カリキュラム運営に教職員全員で取り組み、今年度の履修を問題なく進めることができた。新カリキュラム運営上の課題を具体化し解決することでよりよい運営を目指している。

人事・給与制度、意思決定システムについては規定などに明示されたものに則り運営されている。
次年度より新たな勤務評定制度の導入にあたり、理解して取り組めるようにしている。

情報のシステム化を図り、文書管理規定など取扱規程を明文化しルールに沿って運営している。
BCP 策定と関連する危機管理マニュアル・感染対策マニュアルなどの改正を進め、特に感染状況のフェーズに応じた対応や行事運営に際してのマニュアルなどを整備したことで、誰にでもわかりやすく運営できた。また昨年度策定した『BCP に基づく危機管理マニュアル』を基に、当校の設置場所の地理的地質学的特徴から起こり得る大規模地震を想定した「BCP 被災レベル 2」の BCP 訓練を企画した。災害担当教員が開発した BCP シミュレーション方式を採用し、安全管理委員が協力しておこない課題抽出、解決策を検討している。例外的出来事に対しては、その都度検討し対応していく。

III 「教育活動」自己評価：4.0

コロナ禍での授業方法及び施設・設備等により教育効果の維持に努めることが求められており、オンライン授業体制を整え、実施している。また、学生個々の学習状況を担任・教員全体で把握し、必要に応じて支援している。

キャリア教育としては、看護観に基づき看護師に必要な知識・技術・態度の付与に加え、職業人になるという自覚や態度を育成し、コミュニケーションスキルや人間関係形成、問題解決などの能力の育成に努めている。進学に向けての情報提示や支援についても強化し、時期を早めオンラインで実施した。教員も予定されていた研修が、オンライン受講となり、オンラインを用いた効果的な授業展開を工夫する等、質的向上に努めている。各学年間の交流を図る企画等も、オンラインで実施している。

臨地実習指導者が指導者としての役割を認識し、主体的に活動できるよう支援したことは今年度学内実習を余儀なくされた場合でも、技術指導・患者役・看護師モデルなどの協力につながり、指導学生の学びに効果をもたらしている。

資格要件を備えた教員確保のために、今後 5 年間の教員養成、配置計画について看護部とさらなる協議を続けていく。

IV 「学習成果」自己評価：4.0

昨年度国家試験全員合格の結果を受け、免許取得に際しては業者との連携を図りながらさらに支援している。学生個々が主体的に学習に取り組めるように、学生の能力に応じた動機づけと支援をすすめている。

V 「学生支援」自己評価：3.8

設置医療施設と連携し就職に対する連携をおこなっている。今後も設置医療施設以外の就職も視野に入れて、早めに希望先を絞るべく、2年生からインターシップへ参加している。就職に対しては学生のニーズに合わせて積極的に支援するとともに、業者からの協力も得ている。

関東圏では、年々採用試験時期が早くなり、市内周辺施設の採用試験も早まる中、第一志望の就職先を視野に、優先度を考えながら受験日を選択する等、個別に指導している。

学生相談に関しては、担任制をとり個別に対応している。「なんでも相談室」として、自由面談の機会を設けている。また、校医に精神科医師を配置する等、相談体制を整備している。そして専任カウンセラーの配置は難しいため、設置病院における精神支援のカウンセリング体制の中に、学生も対象とできる具体的な体制づくりを進め周知し、スムーズに利用できている。

設置病院独自の奨学金は設けていないが、各種奨学金制度の紹介、相談を行っている。また、令和3年度より高等教育の修学支援新制度の対象校となり、毎年、更新申請を行い、次年度も対象校に決定している。さらに社会人経験のある入学生への支援として、教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）を申請し、次年度より講座指定が決定している。

個人情報の取り扱いでは、教職員の取扱いの現状を把握し、取扱規程を明文化し運営している。文書管理については、規定を設け適切に管理している。

VI 「教育環境」自己評価：4.0

既存の3階建ての施設設備をバリアフリー化することは、経済的にも難しい。建物の経年変化に対しては、校内各室の点検項目一覧表を作成、校内施設設備を点検し、優先度をつけて計画的に整備・改修を進めている。今あるスペースの中で、いかに使い勝手のよいものにしていくか、配置も含めて検討している。防災体制などの整備を進め、学生用のヘルメット購入や棚等の転倒防止への対策を予定している。

VII 「学生の募集と受け入れ」自己評価：4.0

受験生の必要としている情報は、受験生からのアンケートで把握している。6月の学校説明会は、オンラインで実施した。また、7.8月のオープンキャンパスは、感染防止策を講じて対面で企画、実施した。

入試選抜については現状分析に基づき協議し、今年度は指定校推薦、社会人選抜、一般入試をこれまでよりも1か月、早い時期に実施した。結果、次年度入学生は定員割れの状況であり、18歳人口の減少のほか、県内大学に看護学科が開設されたこと、学生の大学志向等が要因と考えられる。1学年50人定員の応募に対して、財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図り検討することで、定員充足に努めている。

卒業生の到達状況は、卒業生の特性と看護師の実践能力の自己評価で行っている。

VIII 「財務」 自己評価：3.8

学校運営にかかる経費は、設置病院に大きく財政的に依存している。昨今の医療を取り巻く状況や消費税増税、物価上昇等の影響から、一層の財務改善への取り組みが必要とされる。その点においても、学生数の確保は喫緊の課題である。また、学校建設 27 年目となり、長期的な施設設備の補修等も見込んでいく必要がある。それらを含めて、支部・設置医療施設・看護学校で協議していく。

IX 「法令等の遵守」 自己評価：4.0

法令等を遵守し、文書管理・個人情報保護に対する対策を進めてきた。学校評価ガイドラインにより自己点検・自己評価を行、評価結果を学校ホームページで公表している。

X 「社会貢献地域貢献」 自己評価：4.0

奉仕団を通じて、例年は支部、病院、社会福祉協議会、長岡若者しごと機構のボランティアの要請に応じていたが、今年度は活動を縮小せざるを得なかった。しかし、学生は青年奉仕団員であるという自覚をもち、コロナ禍でもできる活動を工夫し活動している。学生の活動を支援するとともに、積極的な地域ニーズの把握やボランティア活動の実績評価を進めていく

XI 「国際交流」 自己評価：4.0

国際的視点をひろげるための、外国人教師による英会話の充実や、災害医療論での国際看護を教授している。新規授業科目である異文化論・グローバルヘルスにおいても国際交流の時間を設けた。

<学校関係者評価結果>

保護者の皆様には、学校評価アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。

今年度より、学校評価内容について項目数を増やし、評価していただきました。

結果をふまえ、教育の状況や学生の様子、学生生活の状況等を、保護者の皆様にわかりやすくお伝えできるよう、学校ホームページの充実を図るとともに、引き続き保護者の皆様と連携し学生を支援していきたいと考えております。

保護者の皆様からのご意見等を真摯に受け止め、学校運営に生かすとともに、これからも当校の教育理念に沿った質の高い看護師を養成してまいります。

点数平均（4点満点）

	学 校 評 価 内 容	R4年度
1	学校は、教育理念・教育目的・教育目標の達成に向けて教育活動に取り組んでいる。	3.76
2	教員は、教育科目の目標に照らし、授業内容・授業方法を工夫し実施している。	3.66
3	学校は、臨地実習施設と連携し、臨地実習における看護実践の学習を支援している。	3.72
4	学校は、個々の学生にあった方法で学習支援を行っている。	3.17
5	学校は、進学や就職を支援する体制を整え支援している。	3.56
6	学校は、看護師国家試験に対する支援体制を整え支援している。	3.67
7	学校は、学生の健康管理に取り組んでいる。	3.47
8	学校は、教育上必要な施設・設備・教育用具等を整備している。	3.55
9	学校は、学生の要望を把握し、快適で充実した学校生活が送れるよう支援している。	3.40
10	学校は、学内における防災・安全管理等、危機管理体制を整備し、適切に運用している。	3.61
11	学校は、学生に対してソーシャルメディアの適正利用や個人情報の管理に関する啓発及び教育に取り組んでいる。	3.40
12	学校は、保護者に対して教育活動の状況や学生の様子等の情報提供を適切に行っている。	3.49
13	ホームページにより、3学年の学生生活がイメージできる。	3.25
14	看護師（専門職）を目指す学生としての自覚を感じる。	3.68
15	赤十字の活動に関心をもっている言動を見聞きする。	3.51
16	日常生活の場面を通し、社会人としての成長を感じる。	3.53

学校評価アンケート結果